

太陽 ASG 監査法人 企業の内部統制取り組み状況に関するアンケート結果を発表

太陽 ASG 監査法人（本部：東京都港区 総括代表 CEO：梶川 融）は、2008年4月開始事業年度より適用がスタートする「内部統制報告制度」に関する各企業の取り組み状況のアンケート調査を行いましたので、本日、その結果を発表いたします。
なお、このアンケートは、同法人が2007年4月5日「太陽 ASG オープンセミナー ～内部統制報告制度の施行期間を迎えて～」を開催し、その際、来場者を対象に実施したものです。

アンケート結果のポイントは、下記の4点です。

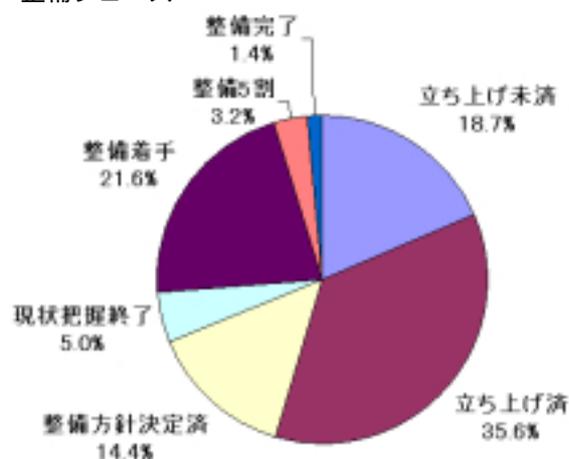
1. 内部統制プロジェクトは立ち上がりつつも運用状況評価にはほとんど至っていない。
2. プロジェクトの規模、予算に関しては、企業によって差がある。
3. 企業の約30%は外部コンサルタントの導入は予定していないが、コンサルティングを受ける場合は、監査法人の利用を予定。
4. 企業の8割が時間的には自己の対応状況に合格点を与えているが、完成時の水準に関しては、「合格点ギリギリ」を狙う企業が50%以上に。

なお、上記4点のポイントの詳細は、下記の通りとなります。

1. 内部統制プロジェクトは立ち上がりつつも運用状況評価にはほとんど至っていない

プロジェクトの立ち上げ未済企業が18.7%、また、整備状況の評価に未着手の会社が73.7%となっており、評価作業はまだまだこれからという実態がうかがえる。整備状況評価の次のフェーズとなる運用状況の評価に至っては、実に92.7%の会社が評価作業に着手していない。3月決算会社が最も早く制度の適用になるが、本格稼働は決算が一段落する6月下旬くらいからとなるものと思われる。

<整備フェーズ>



<運用評価フェーズ>



2. プロジェクトの規模、予算に関しては、企業によって差がある

プロジェクトリーダーは担当役員が一番多く、53.5%となっていた。つぎに社長 18.5%が続いている。

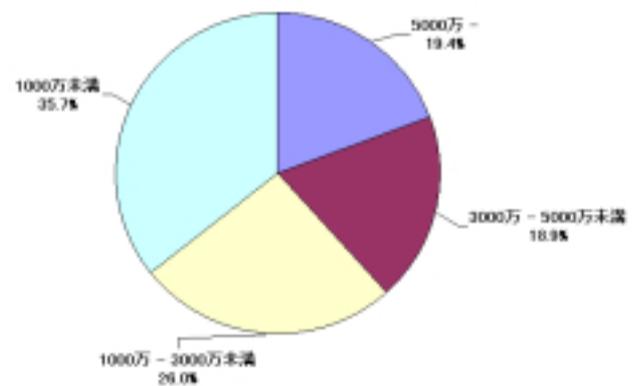
プロジェクトの人数は、各社ばらつきがある。会社の規模によると思われるが、5人~9人が結果としては35.2%と多い。

予算についても分散しており、5,000万円以上の会社が19.4%である一方で、1,000万円未満の会社が35.7%となっている。

<プロジェクトリーダーの役職>



<予算(人件費除く)>

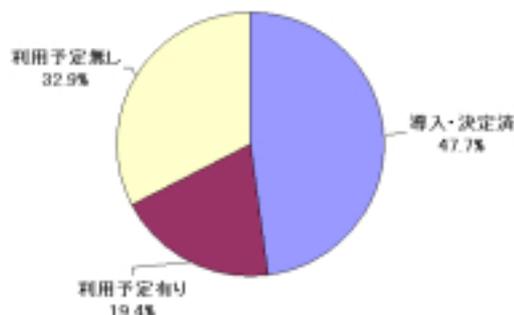


3. 企業の約30%は外部コンサルタントの導入は予定していないが、コンサルティングを受ける場合は、監査法人の利用を予定

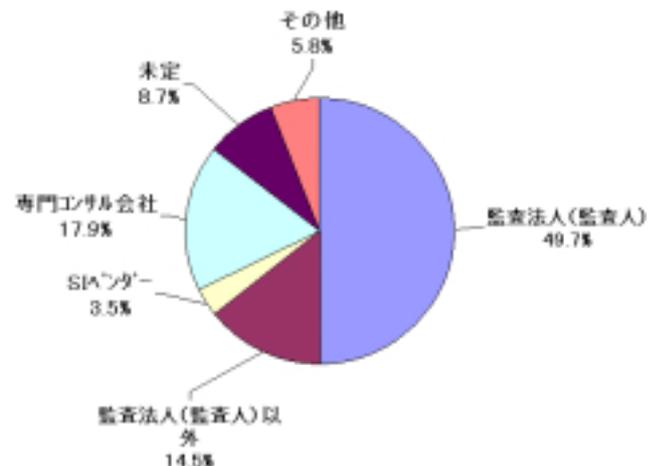
外部コンサルタントは32.9%の会社で導入予定なしとしているが、コンサルティング契約は結んでいないものの、会計監査を担当している監査法人等からアドバイスはなされるものと考えられる。

コンサルティングを受ける場合、その相手先としてはやはり会計監査を担当している監査法人が多く、49.7%となっている。

<外部コンサルティング等の利用>



<[導入済・決裁済]或いは[利用予定あり]回答者内訳>

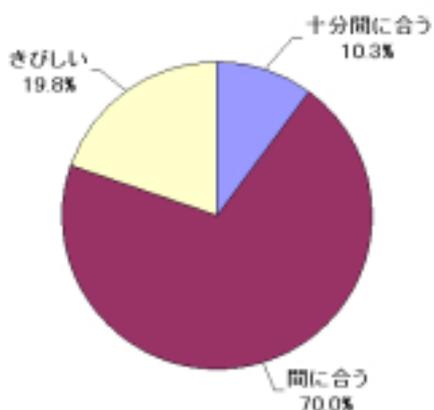


4. 企業の8割が時間的には自己の対応状況に合格点を与えているが、完成時の水準に関しては、「合格点ギリギリ」を狙う企業が50%以上に

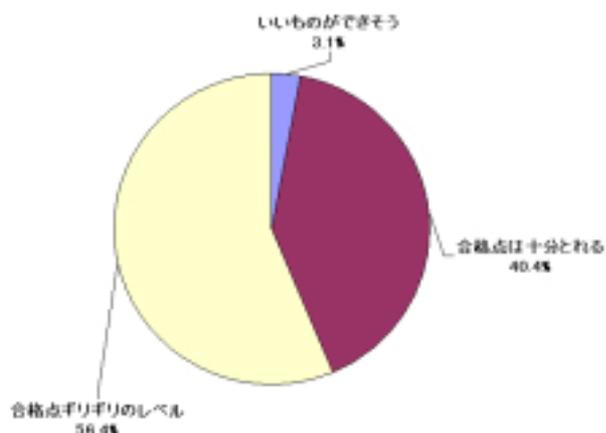
時間的には間に合うと考えている会社が80.2%で、厳しいとしたのは19.8%であった。整備状況の評価に未着手の会社が多い割には、間に合うと考えている会社が比較的多い。

完成時の水準としては、いいものができると考えている会社は3.1%に過ぎず、合格点ギリギリを狙う会社が56.4%となっている。

< 時間的な評価 >

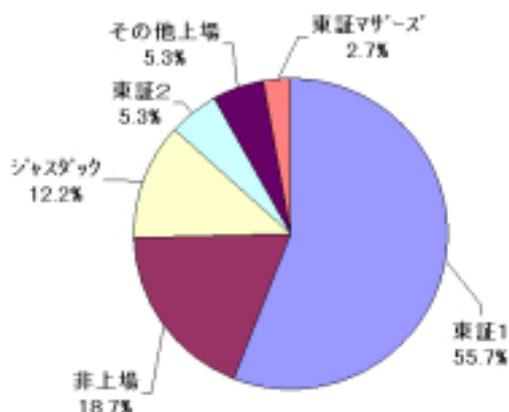


< 完成時の水準予測 >

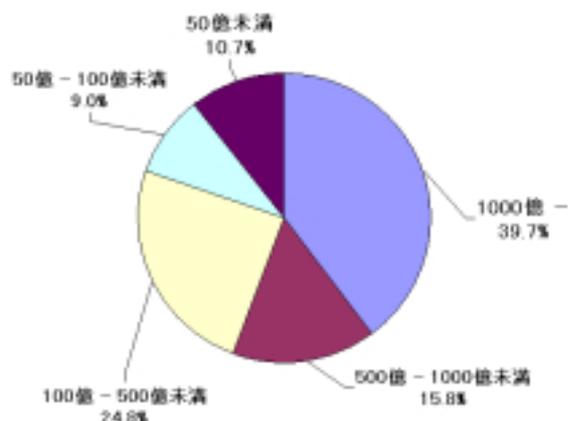


<< アンケート回答者の内訳 >>

< 上場市場 >



< 売上高 >



有効回答数 278名 (出席者数 517名) / 回答率 53.77%

<< まとめ >>

セミナーに参加したアンケート回答企業は、準備を開始し始めたばかりの企業や、スタートしてはいるものの自社の方法でよいか検証しておきたいという企業が多いと想像される。この点、上場企業の全体を反映していない可能性もあるが、内部統制に関する相談を受けている現場感覚とは概ね一致している。

本格稼働はこれからというアンケート結果になっているが、その原因としては、一般的に行われている評価方法が経営者の内部統制に対する感覚と一致していないということが挙げられる。今後、制度が意味あるものとして定着するためには、両者のギャップを埋めることが重要である。

太陽 ASG 監査法人 (グラント・ソントン加盟事務所)

所在地： 東京都港区赤坂 8 - 5 - 26 赤坂 DS ビル 9F

総括代表社員： 梶川 融 (CEO) 本田親彦

グループ会社： ASG 税理士法人、ASG マネジメント株式会社、ASG アドバイザーズ株式会社

U R L： <http://www.gtjapan.or.jp/>

太陽 ASG 監査法人は、「日本において最も公平で倫理的な監査サービスを、資本市場を通して投資家をはじめとしたステークホルダー (利害関係者) に正義と勇気をもって提供する」ことをミッションとし、「クライアントファースト」「フルラインサポート」「プロフェッショナルサービス」の 3 つの理念に基づき、リスクマネジメントを核とする幅広いかつ高品質な専門的サービスを行います。

< 主な業務内容 >

監査・保障業務 (法定監査、任意監査その他)

スペシャリストサービス (内部統制、ディスクロージャー支援、組織再編)

太陽 ASG グループ

太陽 ASG グループは、世界 110 カ国、520 箇所以上の拠点をネットする国際会計事務所「グラント・ソントン」の加盟事務所です。2006 年 1 月 1 日付太陽監査法人と ASG 監査法人が合併し、新たに太陽 ASG グループを構成しました。国際水準の監査の他、オーナー系企業・中堅企業への各種業務・コンサルティングサービスの提供についてはトップクラスの実績を誇ります。

< 太陽 ASG グループが提供する事業領域 >

監査・保証業務、IPO、内部統制、公益法人・財団法人、アドバイザリサービス、税務戦略・税務サービス、国際税務、企業評価・事業評価、M&A・コーポレートファイナンス、ファミリービジネス・事業承継、外資系企業サービス、財務業務管理システム

グラント・ソントン

グラント・ソントンは世界第 6 位にランクされるグローバルな会計事務所グループであり、オーナー企業および独立系企業を中心に監査、税務、その他会計コンサルティングサービスを提供しています。世界 110 カ国、520 箇所以上の拠点、2200 名のパートナー、22,000 人の従業員を擁します。各グラント・ソントンの拠点は、全世界で共通の高品質なサービスの提供にコミットしており、クライアントの全世界あらゆる場所におけるビジネスの展開をサポートします。

日本では太陽 ASG グループ (太陽 ASG 監査法人、ASG 税理士法人、ASG マネジメント株式会社、ASG アドバイザーズ株式会社) が、グラント・ソントンの日本メンバーとして世界水準を導入した会計コンサルティングサービスを提供しています。

本件に対する問い合わせ先

太陽 ASG グループ マーケティング・コミュニケーション 担当マネージャー 田代知子

TEL : 03 - 5770 - 8860 (直通)

FAX : 03 - 5770 - 8830

email : t-asgMC@gtjapan.com